

●イベント中止のお知らせ

5月30日（土）に予定していた「木津川の野草を食する会」は諸準備の関係で開催が出来なくなりました。参加出席をご予定頂いていた皆さまには期待に沿えないこと大変申し訳なくお詫び致します。

●マイコン教室の開催を検討中です。

夏休みの7月19日（日）に中学生以上の生徒さんを対象に開催をしてはと準備が始まっています。コンピューターの仕組みやプログラムの仕組みなどについて初歩的な所を学びを深めてもらって、自らが面白さを理解できればと思っています。参加してみたいという人から早くも要望が寄せられています。会場確保や資料や材料代も里山の会の工夫で1000円程度の個人負担で開催可能と判断しています。当日の学習の進み具合で2日目以降の開催も検討しなければと思っています。

農園部会だより

●5月9日（土） 1号地野菜の収穫と3号地に苗の植付けを行いました。

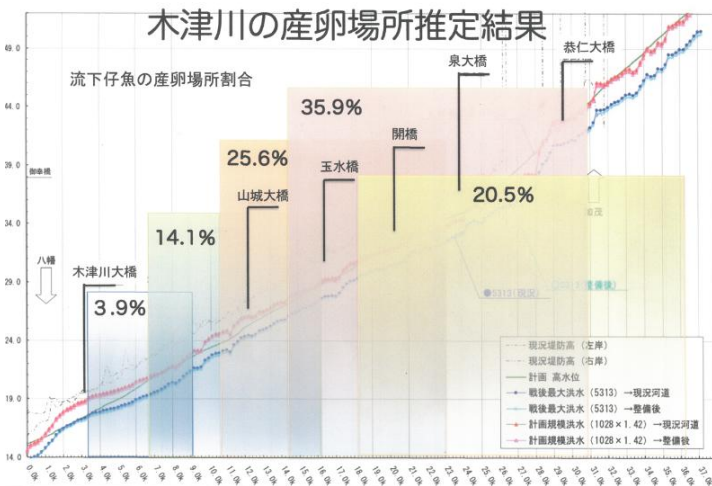
天気の良い暑い午前中でしたが、里山農園には12人（高校生以下の子ども5人含む）が参集してくれました。3号地には、ピーマン、万願寺、ナスビ、トマトの苗を大きく育てたくさんの実をつけてくれることを願いながら、植え付けました。また、1号地では、さやえんどうとスナップエンドウを子供たちの力を借りて収穫しました。収穫した野菜は参集した会員に買い取っていただきました。ご協力をありがとうございました。小川家では茹でて食しましたが、おやつ感覚でいただける甘みにほっこりとしてしまいました。会員がそれぞれ手入れをして作業は終了しました。これから野菜を始めとして多くの植物が成長してきます。マムシやハチ・ダニなどの害獣・害虫による被害を減らすためにも・美しい里山の風景を維持するためにも草刈りは必要です。多くの力が必要ですので、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。



3号地への苗植え付け

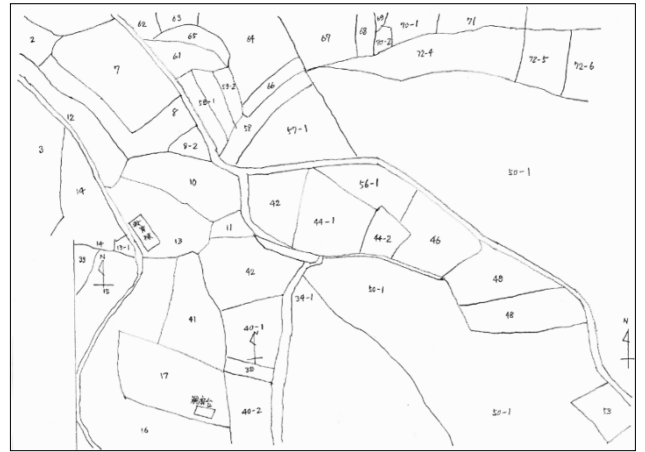


●三川合流でのアユの流下稚魚の調査から木津川での産卵場所が分かってきました。



毎年の寒い12月にアユの流下稚魚の調査が桂川や賀茂川、宇治川の漁協の皆さんが調査を行ってこられました。2025年の年末に木津川漁協さんもはじめて参加されたとお聞きしました。調査を指導されてきた竹門康弘先生の解析・分析で木津川での産卵場所が特定されました。木津川はダムが建設されるまではアユが生育するすばらしい川だと人気があったといわれてきました。ダムの建設や川砂の採取で流れが変わり魚種が減り漁獲量も減りました。竹門先生の調査研究からアユの川の

再現の道筋が明かになって、それを知った木津川漁協さんは産卵場所の整備を行ってみようと考えられるように大きな変化が見られるとのことでした。私たち里山の会は多くの子どもたちが木津川で魚が採れる川になってほしく、また川から多くの事を学んでほしいと取り組みを進めてきました。このように木津川漁協さんの取組が始まるのを機会に地域住民としてささやかですが川づくりに参加させていただければ大変うれしいと思います。



●今地主さんの意向によりみんなで作り上げてきた施設の存続の危機にさしかかっています。

里山農園は2010年頃から我々の手で第2回目の開拓が行われ、水取地域の菰谷の放棄地が見事によみがえり、笹や草で覆われていた丸山が綺麗になり猪による獣害も解消されました。この里山農園は京田辺市の自然の宝物と言う所で国蝶オオムラサキが生息していますし、ヤマトサンショウウオの生息池が見つかり、京都府下でここにしかないコバナノワレモコウが繁茂を始めているなど数えられないほどの宝の地域なのです。里山は人の手が入る条件も必要でありますから栽培農園として野菜などを収穫しています。また教育棟の大屋根はとてつもない役割を果たし、訪れてくれる方々に安心感を与えます。我々の開拓を開始した第2回目の開拓から15年を数え大屋根は12年の経過です。まだまだ頑丈でしっかり里山農園のシンボルの役割を果たせられます。高校生となった皆さんが熱心に研究観察をはじめ、子育て真っ盛りの親御さんも顔を出し始め、つながりが出来始めて明るい展望が開いてきました。この時こそ我々が若い人たちにバトンをしっかりと渡さなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。

●きょうといきものフェスタが開催されます。 5月16日(土)

宮津市 京都府立丹後海と星の見える丘公園

やましろ里山の会は京都南部から唯一参加させていただきます。松かさツリー作りと竹エンピツの工作販売が出来ればと思います。また北部の環境自然団体との交流も深め、やましろ里山の会の紹介の場になればとして参加いたします。蝶の観察などに熱心な高校生にもご出席いただきたかったのですが、沖縄の海の出来事やクラブ活動でのバス事故などの連続発生があり、少し長距離でもありますので参加を中止としてもらいました。

うみほし公園
開園20周年記念イベント

京都北部の自然を感じ、交流を深めよう！！

きょうといきものフェス！2026

in うみほし 募集要項

日時 2026年5月16日(土) 10時～15時30分

会場 京都府立丹後海と星の見える丘公園

開催趣旨・案内

平塚よりきょうといきもの生物多様性センターの事業にご協力とご協力いただきありがとうございます。開園20周年を迎える京都府立丹後海と星の見える丘公園において、来る2026年5月に「きょうといきものフェス！2026 in うみほし」を開催することになりましたのでご案内いたします。

本イベントは、地域の自然環境保全団体、企業などが協力を得て、多様な主体の交流を促すとともに、みなさまに京都府北部の自然の豊かさや自然に関わる活動の楽しさを感じていただく、生物多様性についての理解を深めていただくことを目的としています。

つきましては、以下のとおり開催をご案内いたしますので、自然に係る活動を行っている団体や個人、自治体はぜひご協力をください。




きょうといきものフェス！2026 in うみほし 実行：京都府立丹後 海と星の見える丘公園

- ◆ 共 催： きょうといきもの生物多様性センター、京都府、京都府立丹後海と星の見える丘公園
- ◆ 開催日時： 2026年5月16日(土) 10時～15時30分
- ◆ 会 場： 京都府立丹後海と星の見える丘公園
- ◆ 主な内容： ブース展示、ワークショップ、自然観察会など
- ◆ 応募締切： 2025年2月27日(金) 17時

五月に咲く木津川の花



マユミ



マツバウンラン

